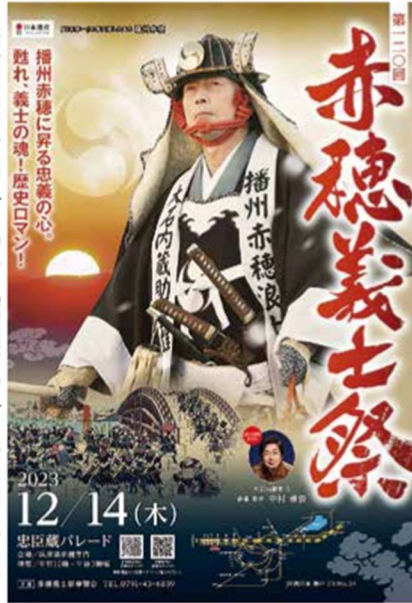


四十七士偲び第120回

14日に赤穂義士祭

城下で忠臣蔵パレード

今年で第120回となる「赤穂義士祭」は14日(木)、赤穂城下一帯で開催。本懐を遂げた四十七士を再現する義士行列、忠臣蔵名場面を再現した山車などを赤穂城下一帯の約600軒をパレード。元禄絵巻を繰り広げる。



赤穂義士祭は、主君を宛点に「祭義講」が浅野内匠頭の無念を晴らすと吉良邸に討ち入った大石内蔵助以下47人の赤穂藩士を追慕する趣旨がある。資料によると、明治4年(1871)に花岳寺に地方青年団、その後には旧制赤穂中学の生徒による義士行列が行われた。終戦から4年間は復讐や仇討ちに関する芝居や映画の上演を禁止したGHQの規制で行われず、同

24年(1949)に再開。その4年後に「赤穂義士祭奉賛会」が発足し、今日まで行事を主催している。コロナ禍の2020年はパレードは自粛したものの義士追慕の祭典と法要は行われた。

今年(1949)は午前10時半から義士墓所がある加里屋の花岳寺で法要を営み、同日1時半からは四十七士をまつる上飯屋の赤穂大石神社で祭典を行う。

忠臣蔵パレードはゴール地点の「いきつき広場」観覧席前で午前10時に原小学校の和太鼓と赤穂高校吹奏楽部の演奏でオーフニング。10時半過ぎに赤穂城大手門前から出発する。これも義士行列、お姫様姿の第37代赤穂義士娘が人力車に乗って進む「義士娘人力道中」、忠臣蔵ゆかりの人物に扮した「義士伝行列」などが続き、ト

りを飾る義士行列は午後7時20分ごろスタート。俳優で歌手の中村雅俊さんが昨年(2022)に



内蔵助役で特別出演し、午後3時ごろまでに観覧席前で勝ちどきをあげる。

コースの3か所に放送席を設け、それぞれパレードの様子をアナウンス。観覧席前放送



席では講師の旭堂南龍さんが実況する。上飯屋の赤穂城跡では武家屋敷公園で午前10時〜午後4時に忠臣蔵ゆかりの市町と近隣市町の「忠臣蔵交流物産市」を開催。二之丸

庭園では午前10時〜午後3時に池泉を手漕ぎ和船で巡る屋形船遊覧(中学生以上200円、小学生50円、小学生未満無料)あり。当日はパレードコースと周辺が午前9時から午後5時まで通行規制。千種川河川敷に臨時駐車場を設ける。JR播州赤穂駅で車いすの無料レンタルあり。問合せは赤穂義士祭奉賛会事務局 ☎43・68839(市観光課)。また、JR播州赤穂

駅南ロータリーでは赤穂高校の全日制と定時制、赤穂特別支援学校の生徒たちによるイルミネーションが13日と14日の午後5時〜10時ごろまで点灯する。(写真は赤穂高校と赤穂特別支援学校の生徒たちがJR播州赤穂駅前に設置したイルミネーション)